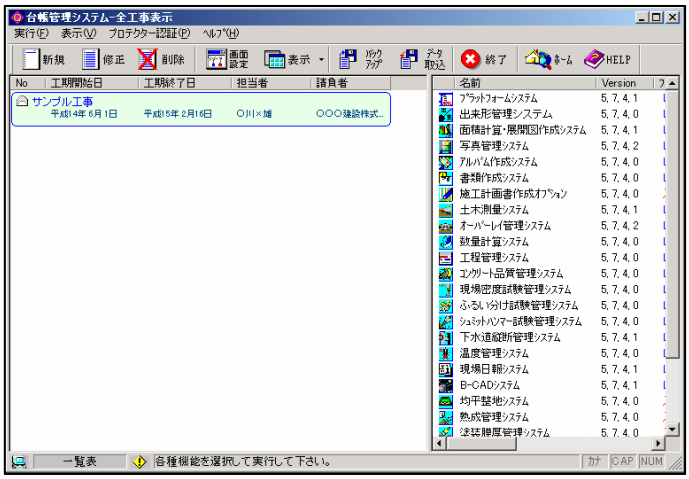
第１章 工事データのバックアップ

台帳管理システムより工事内の全システムデータを一括でバックアップを行います。
※CD への直接書き込みは、OS によっては行うことができません。

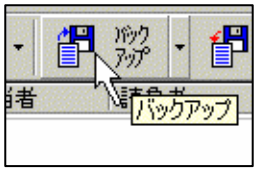
- バックアップのデータは大容量になることが考えられます。一時的なバックアップ場所のハードディスク容量が余裕を持っていることを必ず確認して作業を行って下さい。

１．バックアップ画面を表示する

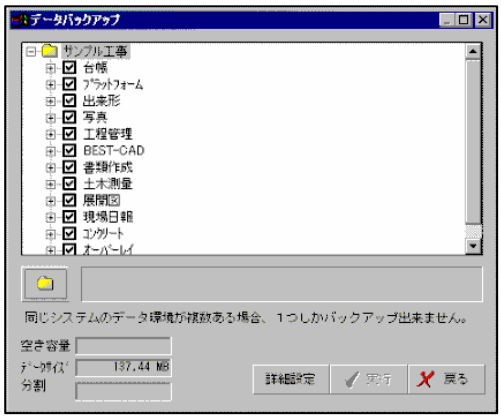
一覧表画面からバックアップを行う目的の現場を選択します。



ツールバーの［バックアップ］をクリックします。



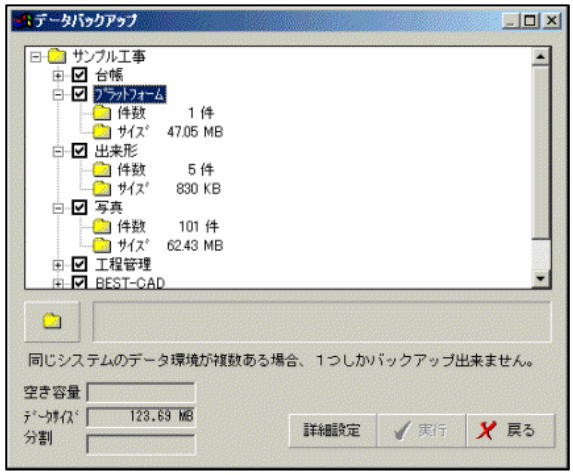
「データバックアップ」画面が表示されます。



2．バックアップするデータを選択する

ツリー上で各システムの一覧が表示されます。
バックアップしないシステムがありましたら、
チェックを外して下さい。

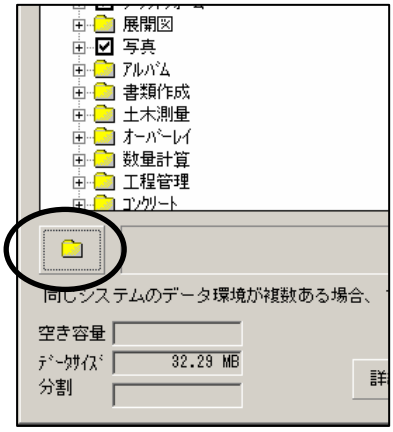
※その工事内にデータのないシステムは、選択
できないようになっています。
（黄色いフォルダの状態）



フォルダの横のプラス記号（+）をクリックすると、
そのシステム内のデータ件数とサイズを表示します。

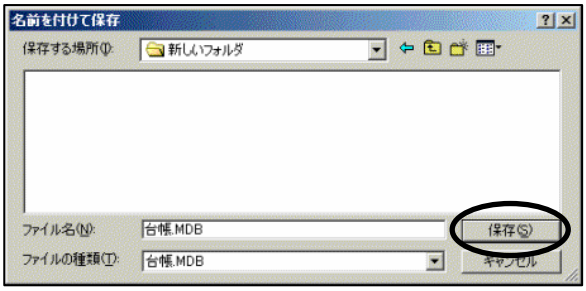
3．データの保存先を指定する

「データバックアップ」画面でフォルダのアイコンを
クリックします。



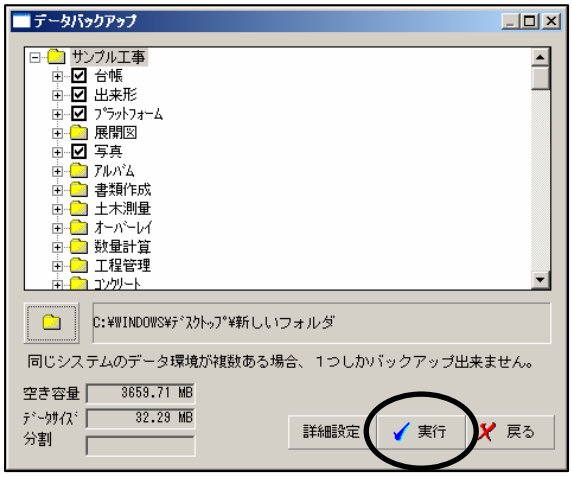
バックアップデータの保存先を選択し、
［保存］をクリックします。

元の「データバックアップ」画面に戻ります。



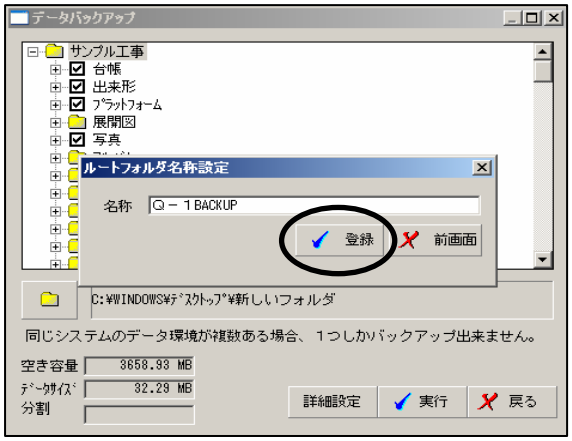
4．バックアップを実行する

画面左下に表示されているバックアップ先の
「空き容量」、「データサイズ」を確認し、
よろしければ［実行］をクリックします。



- **「空き容量」･･･選択している保存先の空き容量を表示します。**
- **「データサイズ」･･･選択されているバックアップデータの総容量です。**

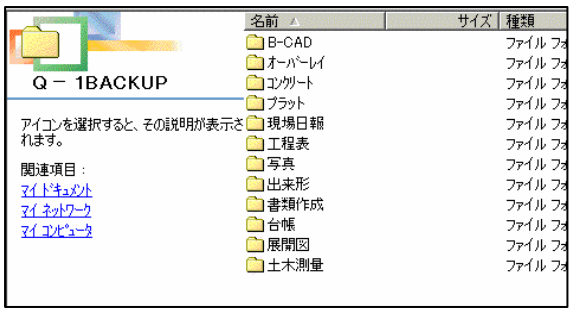
［実行］をクリックすると「ルートフォルダ名称設定」画面が表示されます。
名称を入力して［登録］をクリックすると、
バックアップを開始します。



通常の「台帳管理システム」の画面に切り替わりましたらバックアップ処理は終了です。

またこの時、［詳細設定］より「分割設定」を行うことで、バックアップデータを分散化して出力することができます。
※「第３章　工事データの分割バックアップ（P.7）」を参照して下さい。

バックアップされたデータは、選択されたシステム分のすべてのフォルダが、保存先の位置に指定された場所に作成されます。



※CD へ書き込みを行う際は、OS 及び各ソフトウエアの取扱説明書をご覧下さい。

第２章 複数工事の一括バックアップ

台帳管理システムより複数の工事データの一括バックアップを行います。
※CD への直接書き込みは、OS によっては行うことができません。

- バックアップのデータは大容量になることが考えられます。
  一時的なバックアップ場所のハードディスク容量が余裕を
  持っていることを必ず確認して作業を行って下さい。

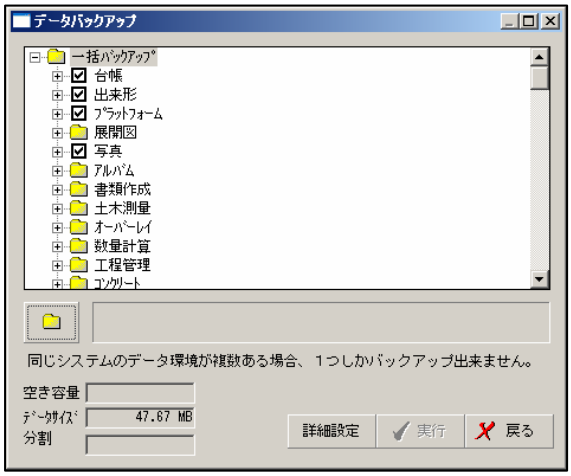
１．バックアップする工事を選択する

ツールバー［バックアップ］右の▼を
クリックし、［複数工事一括バックアップ］
を選択します。

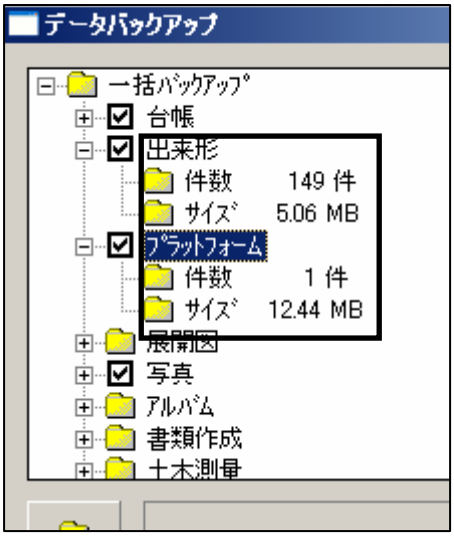
現在登録されている工事タイトルが表示されます。
バックアップを行う工事データにチェックを
付けて、［決定］をクリックします。

ツリー上で各システムの一覧が表示されます。
バックアップしないシステムがありましたら、
チェックを外して下さい。

※その工事内にデータのないシステムは、選択
できないようになっています。
（黄色いフォルダの状態）

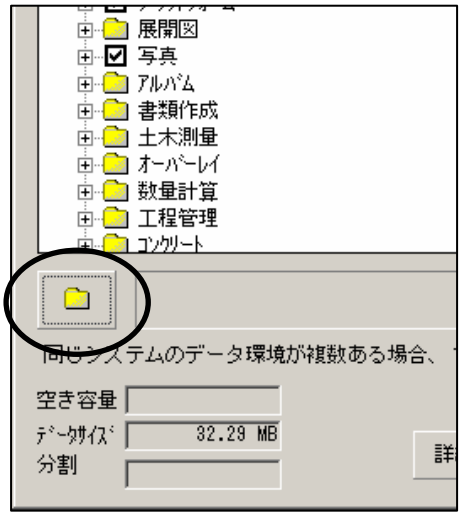


フォルダの横のプラス記号（+）をクリックすると、
そのシステム内のデータ件数とサイズを表示します。



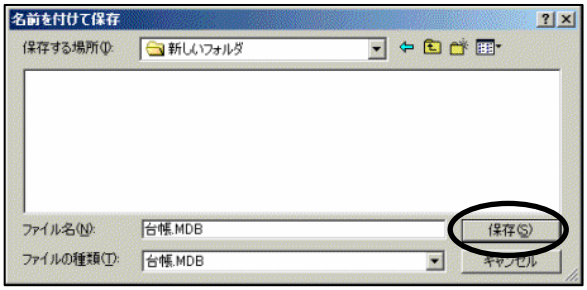
2．データの保存先を指定する

「データバックアップ」画面でフォルダのアイコンを
クリックします。



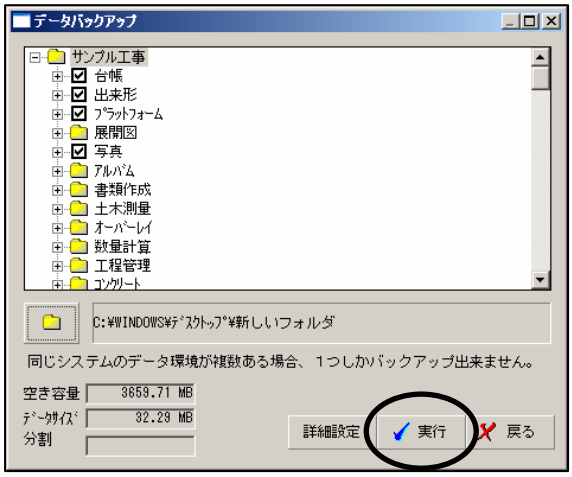
バックアップデータの保存先を選択し、
［保存］をクリックします。

元の「データバックアップ」画面に戻ります。



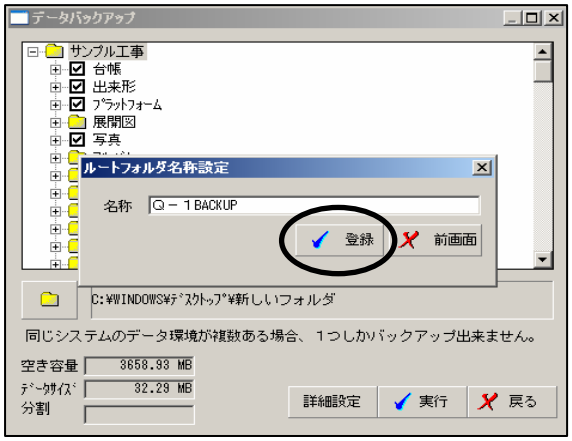
3．バックアップを実行する

画面左下に表示されているバックアップ先の「空き容量」、「データサイズ」を確認し、よろしければ［実行］をクリックします。



- **「空き容量」･･･選択している保存先の空き容量を表示します。**
- **「データサイズ」･･･選択されているバックアップデータの総容量です。**

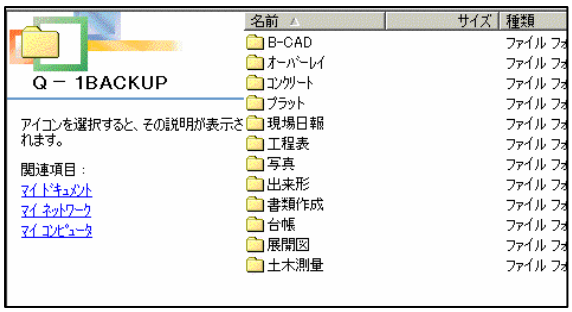
［実行］をクリックすると「ルートフォルダ名称設定」画面が表示されます。
名称を入力して［登録］をクリックすると、バックアップを開始します。



通常の「台帳管理システム」の画面に切り替わりましたらバックアップ処理は終了です。

またこの時、［詳細設定］より「分割設定」を行うことで、バックアップデータを分散化して出力することができます。
※「第３章　工事データの分割バックアップ（P.7）」を参照して下さい。

バックアップされたデータは、選択されたシステム分のすべてのフォルダが、保存先の位置に指定された場所に作成されます。



※CD へ書き込みを行う際は、OS 及び各ソフトウエアの取扱説明書をご覧下さい。

第３章 工事データの分割バックアップ

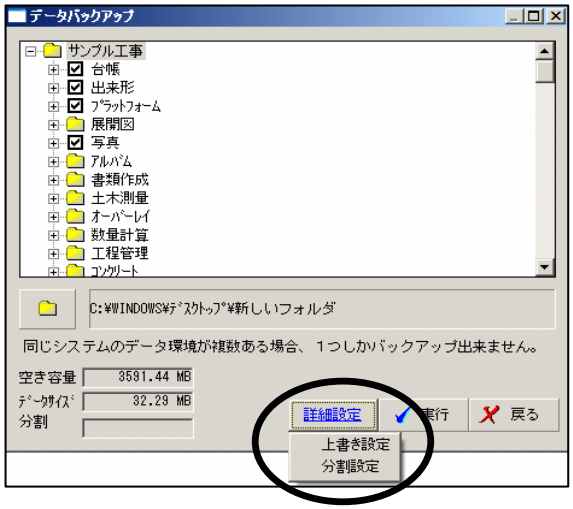
台帳管理システムよりバックアップする容量に応じて、データの分割バックアップを行います。
※CD への直接書き込みは、OS によっては行うことができません。

- バックアップのデータは大容量になることが考えられます。
  一時的なバックアップ場所のハードディスク容量が余裕を持っていることを必ず確認して作業を行って下さい。

１． 詳細設定画面を表示する

「データバックアップ」画面より、画面下の［詳細設定］－［分割設定］をクリックします。

※データのバックアップ画面の表示方法については、「第１章　工事データのバックアップ（P.1）」もしくは「第２章　複数工事の一括バックアップ（P.4）」を参照して下さい。

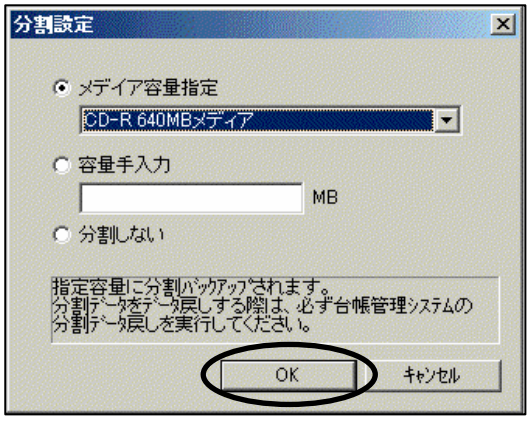


２． 分割する容量を設定する

「分割設定」画面が表示されます。
指定した容量によりバックアップデータを分割します。

分割設定を行い、［ＯＫ］をクリックします。

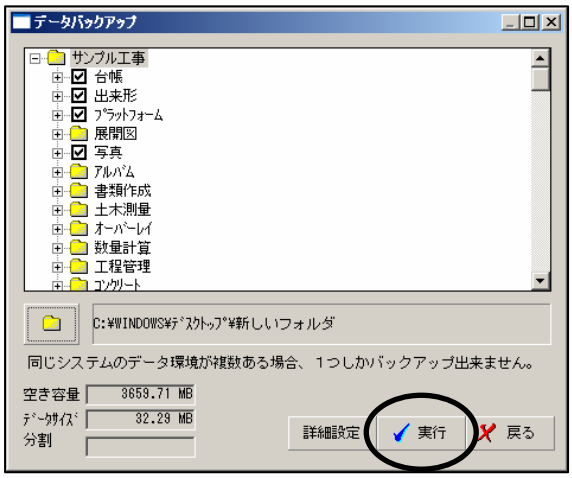
- **メディア容量指定** … CD-R 等で使用される容量（640M／700M）で分割する容量を指定します。
- **容量手入力** … 指定するサイズでデータを分割します。
- **分割しない** … データ分割を行わずひとつのデータで出力します。



分割指定を行った場合のデータ戻しは、必ず［データ取込］－［分割データ取込］より行って下さい。
※「第５章　工事の分割データ取り込み（P.14）」を参照して下さい。

３．バックアップを実行する

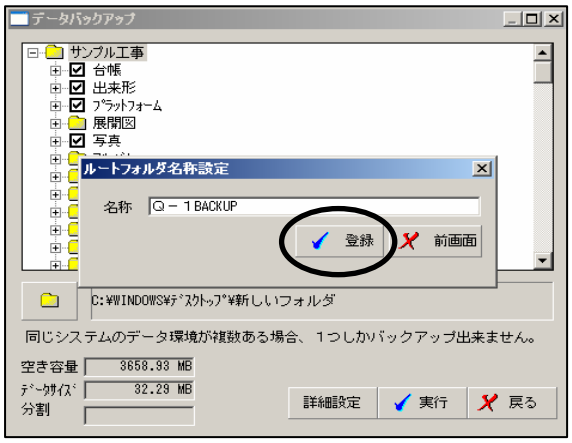
画面左下に表示されているバックアップ先の「空き容量」、「データサイズ」を確認し、よろしければ［実行］をクリックします。



- **「空き容量」･･･選択している保存先の空き容量を表示します。**
- **「データサイズ」･･･選択されているバックアップデータの総容量です。**

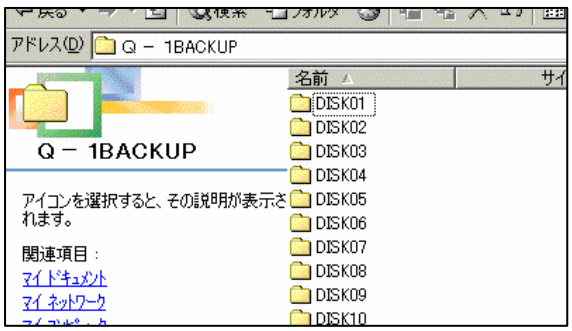
［実行］をクリックすると「ルートフォルダ名称設定」画面が表示されます。
名称を入力して［登録］をクリックすると、バックアップを開始します。

通常の「台帳管理システム」の画面に切り替わりましたらバックアップ処理は終了です。



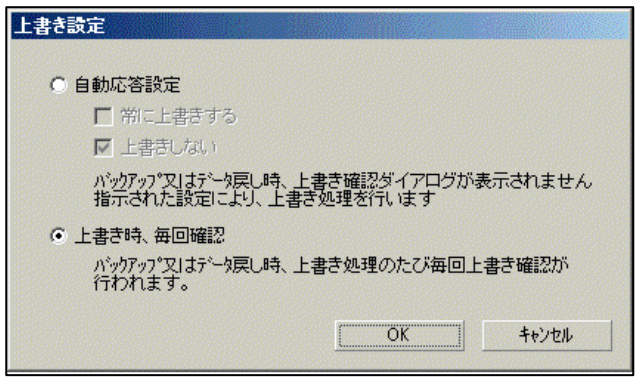
バックアップされたデータは、容量ごとにフォルダに分かれて出力されます。

※CD へ書き込みを行う際は、OS 及び各ソフトウエアの取扱説明書をご覧下さい。



●**「詳細設定」－「上書き設定」について**

以前に出力されたバックアップデータが
ある場所に、改めてバックアップデータを
出力（データ上書き）する場合に
メッセージを表示する設定です。



・自動応答設定

チェックを付けることによりデータの
上書き作業が進みます。
ただし、設定次第でメッセージを表示せず
作業が進むこともありますのでご注意下さい。

・上書き時、毎回確認

「上書き処理」を行う際、毎回確認
メッセージが表示されます。

第４章
工事データの取り込み

台帳管理システムよりバックアップをとったデータの取り込みを行います。

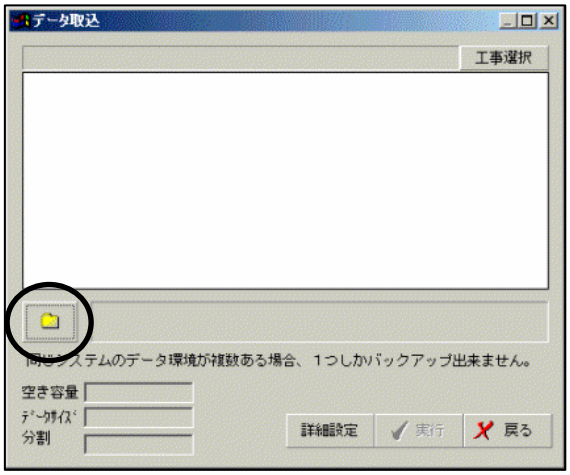
・

１．バックアップした工事データを選択する

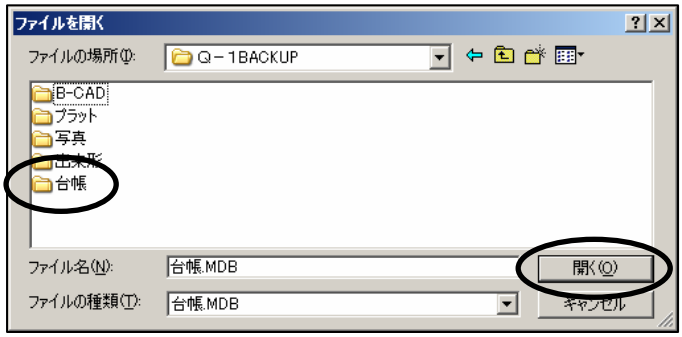
一覧表画面から目的の工事データを選択します。
ツールバー［データ取込］をクリックし、
［データ取込］を選択します。

［データ取込］からは同じ工事番号のデータがあった場合はこれを消去し、工事データを上書きして取り込みが行われます。
新規に工事を追加して復帰する場合は
［新規タイトルへ取込］を選択して下さい。

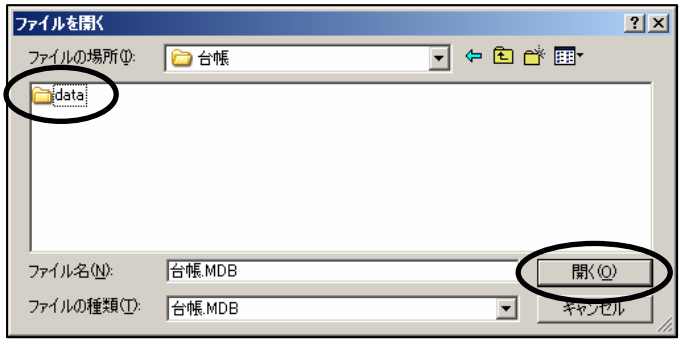
「データ取込」画面が表示されます。
フォルダのアイコンをクリックし、
バックアップデータの保存先を選択します。
（例：Ｑ－１BACKUP）



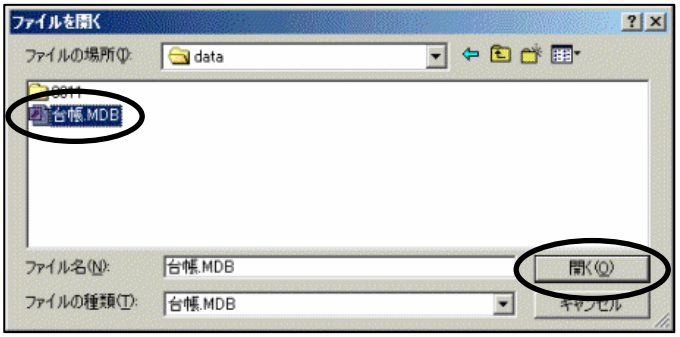
バックアップしたフォルダにある「台帳」フォルダを選択して［開く］をクリックします。



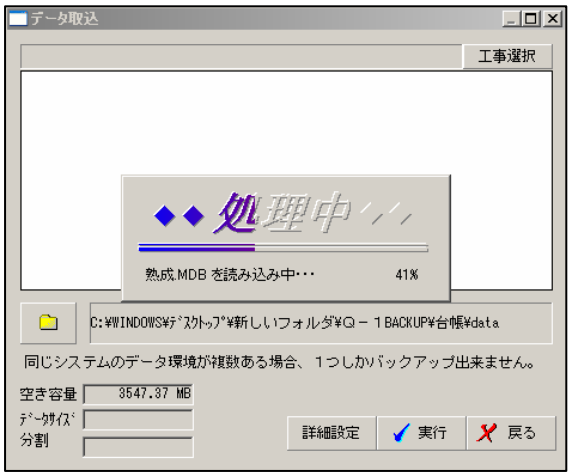
「data」フォルダを選択して［開く］をクリックします。



「data」フォルダ内の「台帳.MDB」ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

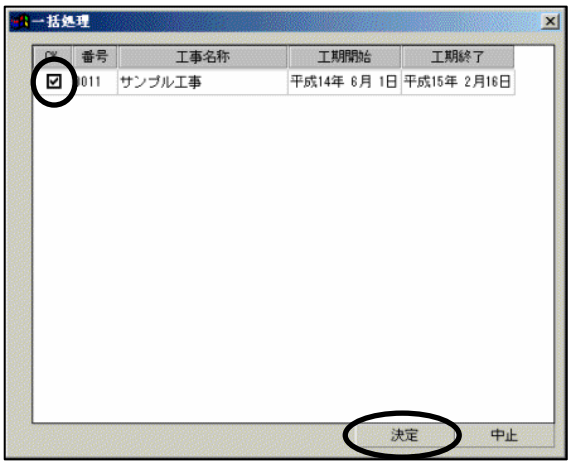


処理中のインジケータが表示され、データの情報が読み込まれます。



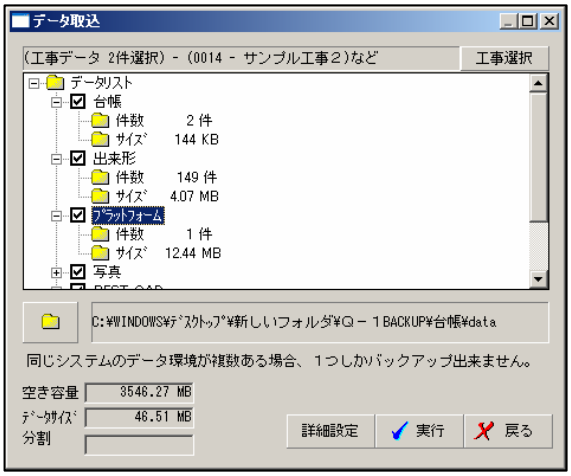
2．データ取り込みを行う

バックアップされている工事データが表示されます。
データ取り込みを行う工事にチェックを付けて［決定］をクリックして下さい。

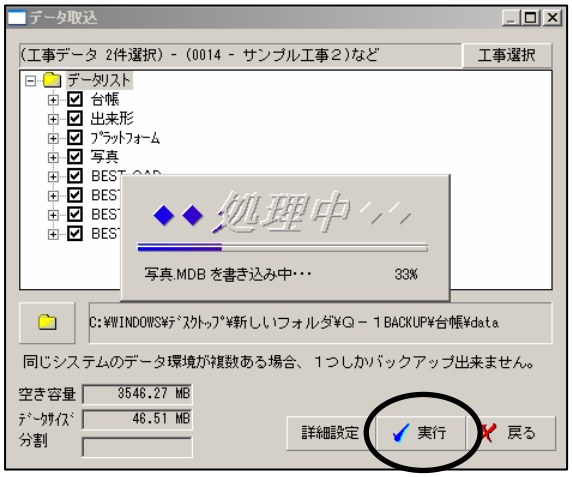


データ取り込みの必要がないシステムがありましたら、各システムのチェックを外します。
画面右上の［工事選択］のボタンより工事ごとに選択することができます。

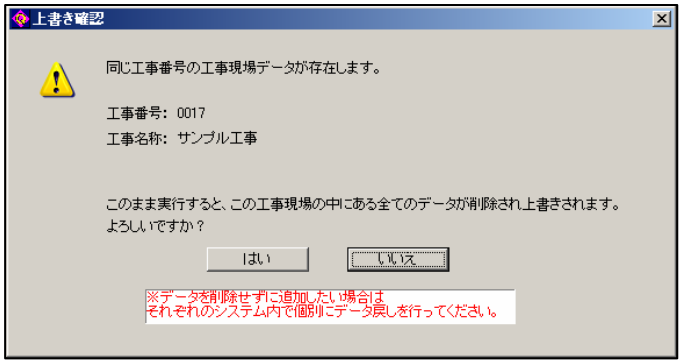
※台帳のチェックを外した場合は取り込みが行えません。
必ずチェックを残して下さい。



［実行］をクリックすると、データ取り込みが実行されます。



「１．バックアップした工事データを選択する（P.10）」より、「データ取込」を選択した場合、同じ工事番号のデータがあると右画面の上書き確認メッセージが表示されます。



上書きを行ってもよろしければ、［はい］をクリックして下さい。
上書きを行わない場合は［いいえ］をクリックしてデータ取り込みを中止し、ツールバーの［データ取込］－［新規タイトルへ取り込み］より取り込みを行って下さい。

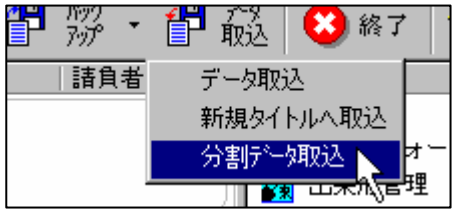
第５章 工事の分割データ取り込み

台帳管理システムより分割バックアップをとったデータの取り込みを行います。

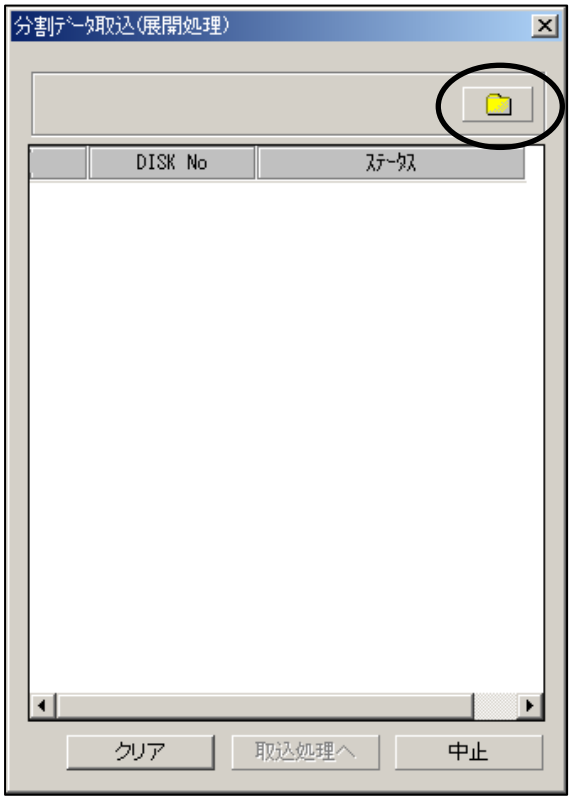
・

１．バックアップした工事データを選択する

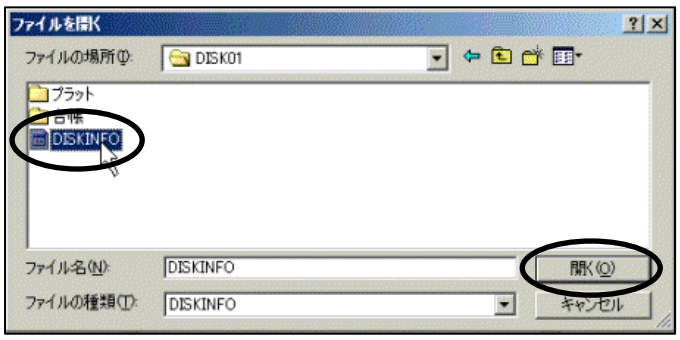
一覧表画面から目的の工事データを選択します。
ツールバーの［データ取込］をクリックし、
［分割データ取込］を選択します。



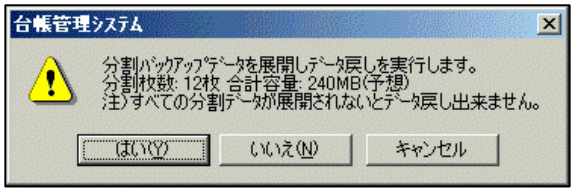
「分割データ取込」画面が表示されます。
フォルダのアイコンをクリックし、
バックアップデータの保存先を選択します。
（例：Ｑ－１BACKUP）



データを取り込むファイルを指定します。
分割されたデータは「DISK01」「DISK02」等
のフォルダで管理されていますので
「DISK01」内にある「DISKINFO」ファイルを
選択して、［開く］をクリックします。

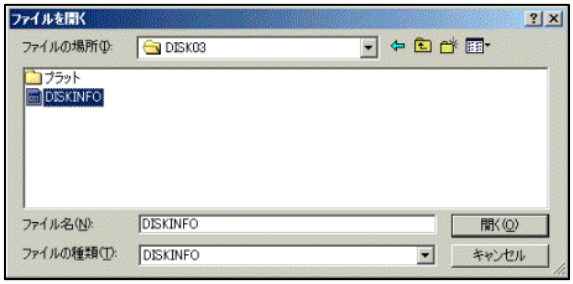


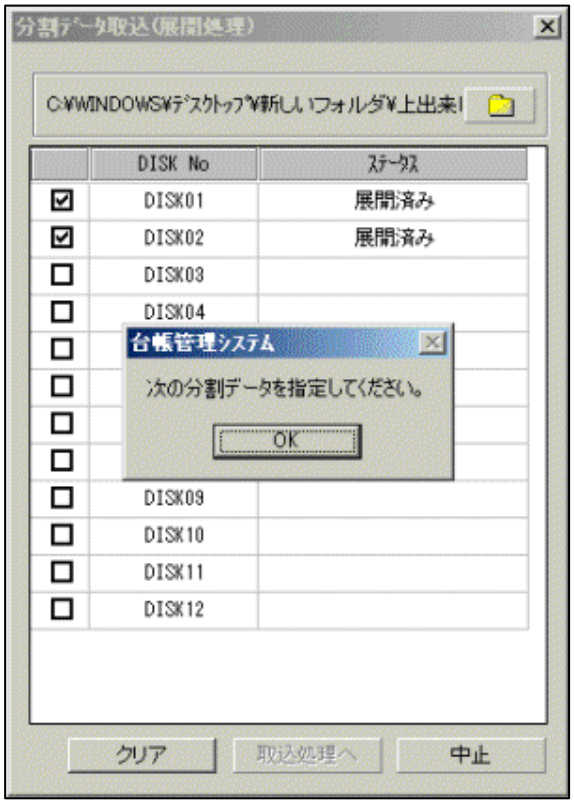
分割バックアップのデータ展開を行う
メッセージが表示されますので
［はい］をクリックします。



分割しているデータフォルダを表示し、次の分割
データを選択する旨のメッセージが表示されます。

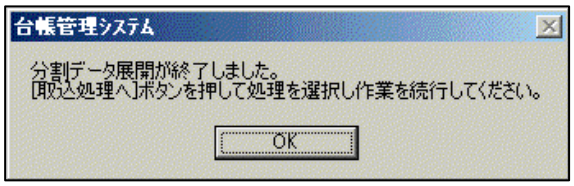
ディスクナンバーを確認しながら次のデータを
選択します。指定するファイルは各「DISKXX」内
にある「DISKINFO」を選択して下さい。





バックアップデータを切り替えながら、
上記手順を繰り返します。

分割データの展開処理が終了するとメッセージが
表示されますので［ＯＫ］をクリックして下さい。



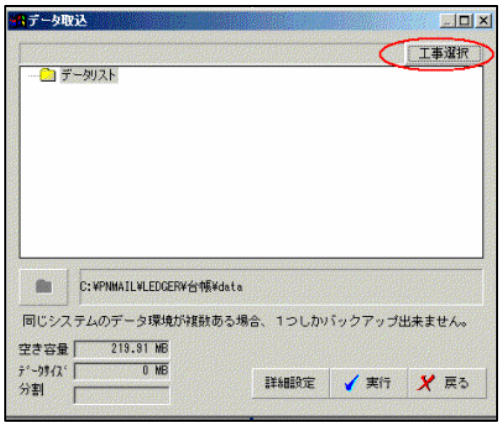
2．工事データの取り込みを行う

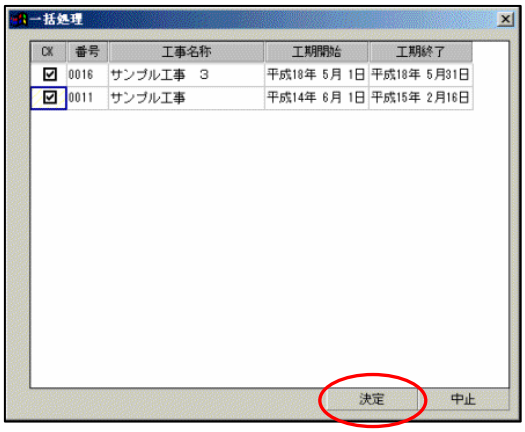
画面下の［取込み処理へ］をクリックして、
展開したデータの取り込み方法を選択して下さい。

・データ取込
台帳データを取り込みます。
ただし同じ工事番号が存在する場合は
データを上書きします。

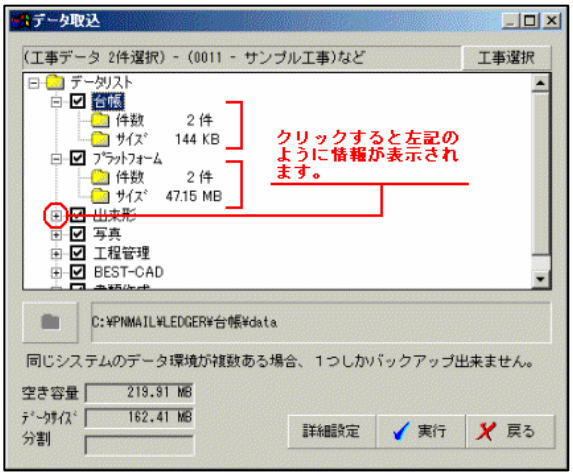
・新規タイトルへ取込み
新規台帳データとして新たに追加取り込みを
行います。

「データ取込」画面が開きますので、［工事選択］
からデータを戻す現場タイトルにチェックを付けて
［決定］をクリックします。





「データ取込」画面に戻り各システムの
ツリーが表示されます。
システム名の左隣の「+」をクリックすると
戻すデータの件数やサイズが確認できます。



［実行］をクリックすると、データ取り込みが
実行されます。
台帳の画面が表示され、工事データの取り込み
が完了します。